

☆はじめに☆

日中の陽射しはまだ強い日もありますが、朝晩の吹く風はさわやかとなり、過ごしやすい季節になりました。運動会も終わり、子どもたち、保護者の皆さんも「ホッ」とされているのではないのでしょうか、大変お疲れさまでした。この過ごしやすい時期は散歩が気持ち良いので、近隣の豊かな自然の中に出かけ、季節の変化を感じ取り、「足腰」や「がんばる力」を育みたいと思います。朝夕の気温差が大きくなるこの時期は、衣服の調節をしながら薄着の習慣をつけ、病気に負けない丈夫な身体づくりを心がけましょう。また、クリスマス遊戯会に向けての練習も始めてまいります。

☆10日は目の愛護デー☆

子どもの目は毎日発達し、両眼の視力機能は6歳頃ほぼ完成するといわれています。

～こんなことはありませんか？～

- ・目を細めて物を見る
- ・上目づかい、横目で見ると
- ・近づいて見る
- ・まばたきが激しい
- ・明るい戸外で眩しそうにする
- ・目やにが頻繁に出る

乾燥するこの時期にかけてアレルギー性結膜炎も出始めます。園でも注視していますが、気になることがあれば受診を。

FootmarkLetter October

☆前理事長の逝去について☆

法人創設者である原忠雄が9月29日に76歳で亡くなりました。本人を振り返ってみます。大学卒業後楽器製作会社に就職し結婚、支店長として手腕をふるっていました。しかし、なかなか子宝に恵まれなかったため環境を変えようと退職し、夫婦の故郷である久留米市に帰ることを決意。楽器に携わる仕事をとおして子どもたちとの関わりに充実感を覚え、「子どもたちとつながりを持てる仕事を今後やっていきたい」と一念発起して夫婦で教育関係の資格を取得。並行して久留米市に「保育園を開園したい」と何度も足を運んで市を説得し、昭和47年に晴れて社会福祉法人美希福祉会を設立、母体となる美希保育園を開園しました。その後、市の要望に応える形で様々な保育事業を展開しました。保育に従事する中で「子どもたちを取り巻く環境をもっと充実したい!」と、周囲の反対を押し切り久留米市議会議員に立候補、当選後5期努めました。さらに平成21年に地方自治、子育て支援策への貢献を国から評価していただき、旭日双光章という勲章を天皇陛下より授かりました。健康診断は受診していましたが、精密検査を指示されても忙しいため、足は病院へとはなりません。糖尿病に起因して目が悪くなり、結果的にすい臓がんを患いましたが、痛がる様子もなく20日程度の入院で息を引き取りました。「身体を良くしてまた横浜に行く。年を重ねたらなおさら便利な都会がいいから横浜に引っ越したい」と何回も言っていました。二年前の夏に保育園を訪れてくれたのが最後となりました。本人の遺志を受け継いでさらに保育道に邁進することを遺影に誓ってまいりました。

行事・職員研修予定

☆行事関係☆

- 3 (土) 運動会
- 6 (火) お話会 (南図書館より)
- 6 (月) 午睡から休憩時間へ移行 (ミント)
- 8 (木) 身体計測 (3~5歳クラス)
- 9 (金) 身体計測 (0~2歳クラス)
- 19 (月) 避難訓練
- 22 (木) クッキング (2~5歳クラス)
- 23 (金) 園外保育 (お弁当の日)
- 27 (火) 誕生会・お楽しみ会
- 30 (金) ハロウィンパレード

☆行事関係の補足☆

■園外保育 (17日)

それぞれ近隣へ秋を感じに出かけます。お弁当、お茶の用意をお願いします。

■ハロウィンパレード (31日)

子どもたちが仮装して近隣をパレードしてキャンディなどをいただきます。お時間のある方は同行いただいても構いません。見かけたら「トリック オア トリート」と声をおかけください。

☆職員研修関係☆

- 13 (火) 家庭支援論 (原口)
- 21 (水) 障がい児対応 (板倉)
- 29 (木) 乳幼児保健 (木村)
- 30 (金) ムーブメント (板倉・長尾)
- 31 (土) ムーブメント (木村・戸上・北原・古賀)